



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 370
January
2024

トピックス

アジア防災センター 2024年頭のご挨拶

アジア防災センター長
濱田政則

関係機関との協力推進

マレーシアにおけるICTを活用したCBDRMパイロット事業の実施：活動のレビュー

JICA研修「防災主流化の促進」コース

GLIDE運営委員会開催

アジア最新災害情報

令和6年能登半島地震

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
https://www.adrc.asia

© ADRC 2024

アジア防災センター 2024年頭のご挨拶

2024年の年頭にあたり、アジア防災センター（ADRC）の加盟国並びにアドバイザー国の関係者の皆様にとって平穏で平和な一年になることを祈念します。

本年1月1日、日本海沿岸の石川県沖を中心とした地域をマグニチュード7.6の地震が襲い、能登半島を中心とした地域で死者・行方不明者250名を超える災害が発生しました。

また、昨年トルコとシリアの国境付近でマグニチュード7.8の地震が発生し、5万人以上の人々が犠牲になりました。

これら二つの地震による人命損失は、いずれも耐震性の低い住居の倒壊が原因となっています。脆弱な建物や家屋が耐震補強されないまま、世界的に特にアジア地域に数多く残っていることを改めて認識させられることになりました。

地震災害に加えて、地球温暖化に起因していると考えられる気象災害が世界で多発しております。昨年9月に発生した北アフリカ・リビアの洪水では死者・行方不明者が1万6千人に及び、8月の米国マウイ島での山火事では100名近い住民が命を失いました。

1998年に設立されたアジア防災センターは、アジア地域での災害を軽減するため、防災情報の提供や地域コミュニティの防災力向上支援および加盟国における防災分野の人材育成などを主要目標として活動を行ってきました。アジア地域での自然災害の増大により、センターが果たすべき役割と責任はますます重くなっております。加盟国からの支援、アドバイザー国からの協力を得て、設立時に掲げた目標を達成するため、所員一同最大限の努力を尽す所存です。アジア防災センターの活動に本年も支援、協力をお願いします。

2024年1月 アジア防災センター長 濱田政則



●関係機関との協力推進

マレーシアにおけるICTを活用したCBDRMパイロット事業の実施：活動のレビュー

2023年10月に実施したパイロット・プロジェクト用に準備したICTツールのシミュレーションについて、対象コミュニティ、郡政府、州政府のそれ

続き

それぞれにおけるレビュー会議を12月4日～5日に開催しました。

関係者の多くはツールに非常に肯定的な反応を示し、ツールが災害対応に革命をもたらし、地域レベルの災害管理能力を向上させる可能性を認識して、今後も引き続き協力していくことに同意しました。

今後の活動としては、2024年2月または3月に、ASEAN加盟国に対してプロジェクトの成果を報告する会合を開催し、次期プロジェクトについての検討を行っていく予定です。



レビュー会議の様子

JICA研修「防災主流化の促進」コース

ADRCは、JICA研修「防災主流化の促進」コースを2023年11月20日から12月13日にわたり実施しました。

本研修においては、太平洋島しょ国及びアジア地域から行政官10名が本コースに参加し、防災の主流化のテーマに沿って、日本の各種防災政策と対策について学びました。研修員は国土交通省や自治体、研究機関等、専門機関の講義を受講し、現場視察として東京都、岐阜県、兵庫県で防災に関する関係施設を訪れました。また研修期間においては、合計4回の討論の場を設けて、研修員と専門家で意見交換を行いました。コースの最後には、コース参加を通じて学んだ点及びアクションプランを発表し締め括りました。

当研修実施にあたり、御講義いただきました各関係機関の皆様には厚く御礼申し上げます。今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



多治見砂防国道事務所による現地での講義と視察

GLIDE運営委員会開催

2023年12月7日、GLIDE運営委員会がオンラインで開催され、運営委員メンバーである国連、国際機関、研究機関等、9機関から25名が参加しました。会議は東北大学災害科学国際研究所小野裕一教授が議長を務め、2023年の活動状況の他、メンバー機関CRED、UNDRRから最近の取り組みについて共有されました。参加者2024年の活動について議論し、今後もGLIDEの展開、活用について協力していくことを確認しました。

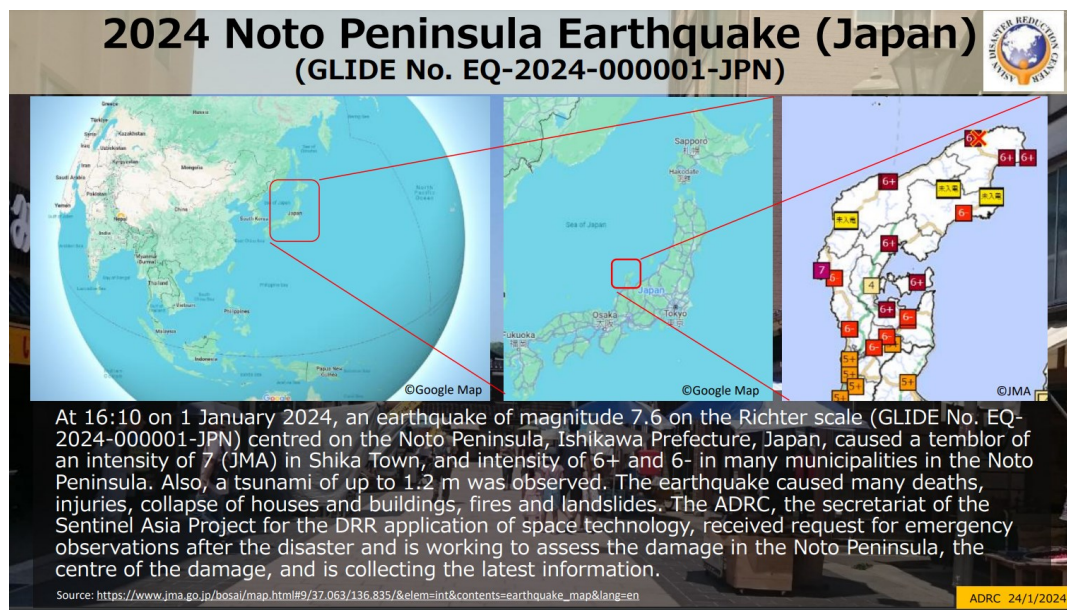
●アジア最新災害情報

令和6年能登半島地震

日本時間の2024年1月1日（月）16時10分頃、日本海側の広い範囲でマグニチュード7.6の地震の揺れが観測され、石川県の能登半島で最大震度7が観測されました（GLIDE 番号：EQ-2024-000001-JPN）。また、地震により、震源に近い沿岸部を中心に北海道から九州にかけ、広範囲で大小の津波が観測されました。本地震及び津波により、多くの死者、負傷者、家屋や建物の倒壊、火災、土砂崩れなどが発生しました。

ADRCでは、災害直後より、本災害の情報収集を行っており、ホームページ上で英語（および日本語）で幅広く情報を発信しています。詳細は、以下のサイトをご覧ください。

令和6年能登半島地震の概要情報（英語版）*大規模災害レポートのページ、随時更新
https://www.adrc.asia/publications/disaster_report/index.php



2024 Noto Peninsula Earthquake (Japan)
(GLIDE No. EQ-2024-000001-JPN)

At 16:10 on 1 January 2024, an earthquake of magnitude 7.6 on the Richter scale (GLIDE No. EQ-2024-000001-JPN) centred on the Noto Peninsula, Ishikawa Prefecture, Japan, caused a temblor of an intensity of 7 (JMA) in Shika Town, and intensity of 6+ and 6- in many municipalities in the Noto Peninsula. Also, a tsunami of up to 1.2 m was observed. The earthquake caused many deaths, injuries, collapse of houses and buildings, fires and landslides. The ADRC, the secretariat of the Sentinel Asia Project for the DRR application of space technology, received request for emergency observations after the disaster and is working to assess the damage in the Noto Peninsula, the centre of the damage, and is collecting the latest information.

Source: https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#9/37.063/136.835/&elem=int&contents=earthquake_map&lang=en

ADRC 24/1/2024

令和6年能登半島地震の概要情報（2024年1月24日現在）

最新災害情報 *随時更新

（日本語）https://www.adrc.asia/view_disaster_jp.php?NationCode=392&Lang=jp&Key=2653

（英語）https://www.adrc.asia/view_disaster_en.php?NationCode=392&Lang=en&Key=2653

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。